



士会だより



「各部だより」

巻頭言

p. 2

各部だより

p. 3-4

INFORMATION

p. 5-7

数珠繋ぎ

p. 8



変わるものと変わらないもの

一般社団法人兵庫県理学療法士会

理事 水田 潤史

近年、理学療法士を取り巻く環境は大きく変化しています。急性期、回復期、生活期における関わりに加え、介護予防、フレイル予防、障害福祉、就労支援、産業保健、スポーツ、地域づくりなど、私たちが求められる場は着実に広がっています。かつては「病気やけがの後に関わる専門職」という印象が強かった理学療法士も、今では病気になる前、介護が必要になる前、生活に制限がでる前に関わることの重要性も問われています。2026年5月、厚生労働省にリハビリテーション統括調整室が開設されたことは、一つの節目のように感じます。理学療法士及び作業療法士法の制定から約60年が経ち、私たちは今、理学療法士の役割を改めて見つめる時期にいるのではないのでしょうか。

その中で、私が自身の臨床経験からも改めて考えたいのが「予防」という言葉の意味です。予防というと、転倒や疾病の悪化、要介護化を防ぐ、といった、何かを起こさないための取り組みとして捉えられがちです。もちろん、それらは大切です。しかし、予防とは単に悪くならないようにすることではなく、その人の生活の選択肢を守り、広げていくことでもあると思います。歩ける距離が少し伸びる。外出への不安が少し軽くなる。買い物に行ってみよう。家族と出かけたい、旅行に行きたい、もう一度地域で役割を持ちたいと思える。そうした小さな変化は、数値だけでは表しきれない大切な成果です。理学療法士が関わる意味は、筋力や可動域、歩行速度の改善等にとどまらず、その先にある暮らしの広がりを支えることにあると思います。こうした関わりの質は、日々の臨床の積み重ねだけで支えられているわけではありません。学会や研修、生涯学習制度といった学びの基盤があってこそ、一人ひとりの関わりの質も保たれているのだと思います。一方で、協会や士会への所属について、「メリット」「デメリット」という言葉で語られる場面も増えています。それぞれの事情や考え方があることは理解していますが、会員であることの意味を、個人が受け取るサービスだけで考えてよいのだろうか、と感じることがあります。学びは自分のためだけではなく、自分が関わる患者さん、利用者さん、地域の方々に、よりよい支援を届けるための土台でもあるはずです。

登録理学療法士制度についても、更新の必要性や学びの負担を感じる場面があることは私自身も理解しています。それでも、自分一人では後回しにしてしまいがちな学びを、一定の道筋の中で積み重ねていくための仕組みとして捉えると、その意味は違って見えてきます。協会や士会に所属しているからこそ、この制度を活用し、信頼される専門職であり続けるための礎にしていけることが大切ではないのでしょうか。

変化する社会の中で、私たち理学療法士は、これまで大切にしてきたものを土台にしながら、どのような視点や関わり方を増やしていけるのか。兵庫県理学療法士会としても、会員の皆様とともに考え、求められる専門職のあり方を探り続けていきたいと思っています。

各部だより

スポーツ活動支援部

第26回 ちびっこベースボール塾

第26回ちびっこベースボール塾が開催されました。今年は5月24日の神戸サブ球場を皮切りに、6月6日の尼崎記念公園野球場、6月13日の姫路市立野球場の計3会場にて実施されました。

○ちびっこベースボール塾とは○

ちびっこベースボール塾は、小学生を対象に、高校球児とのふれあいを通じて野球への関心を高め、健全な心身の発育・発達に寄与することを目的に兵庫県高校野球連盟が主催しているイベントです。



私は6月6日に尼崎記念公園野球場で行われたイベントを担当し、ちびっこたちと一緒に野球を楽しみました。このイベントにおける理学療法士の主な役割は、ウォーミングアップとクールダウンの指導です。ウォーミングアップでは、野球の動きに必要な各関節のストレッチングの指導を行いました。また、高校生とちびっこたちが協力して行うゲーム感覚のトレーニングを取り入れ、みんなで楽しく体を動かせるようにメニューを考案しました。クールダウンでは、肩や肘のケア方法を指導しました。あわせて障害予防の重要性やセルフチェックの方法についても伝え、自分の体へ関心を持ってもらえるような関わりを心掛けました。

イベント中は、楽しんでもらおうと一生懸命に教える高校生とぎこちなくも全力で野球をするちびっこの姿が微笑ましく、終始にぎやかで温かい空間となっていました。

一方で、イベント後に行われた模範試合では、高校球児のたくましいプレーを間近で観て、憧れを抱いたちびっこたちも多かったのではないかと思います。

子どもの人口減少やスポーツの多様化により野球人口が減少する中、このような素晴らしい取り組みが各地に広がっていること、そしてその中で私たち理学療法士が活躍できる機会があることを、とても嬉しく誇りに感じました。

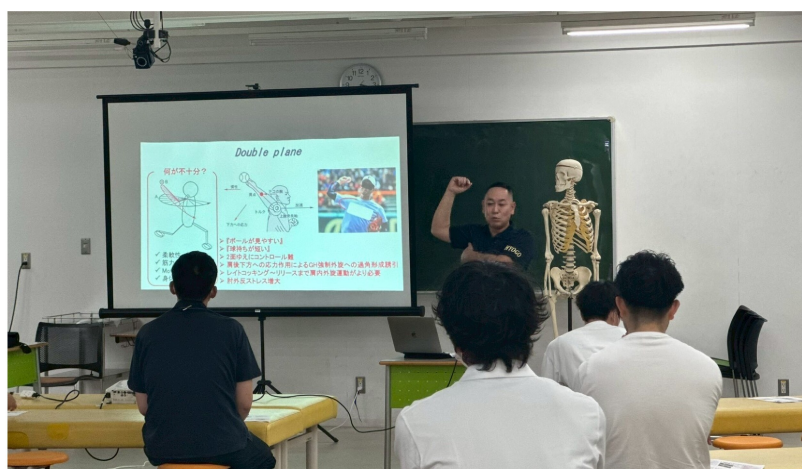
上原 拓也(東浦平成病院)

「投球障害における運動療法の介入」

2026年6月13日(土)にスポーツ活動支援部・野球班は研修会を開催いたしました。26名の方にご参加いただき、実技中心に行いました。講師は野球班の三宅崇史先生(たちはら整形外科・肩とスポーツのクリニック)をお迎えし、『投球障害における運動療法の介入』をテーマにご講演いただきました。

投球動作は歩行動作を診るように行い、野球経験の有無は関係ない。と投球障害や一般整形外科に必要な、肩の機能不全にも着眼して、学びの多い時間となりました。本研修会は、対面にて行い、対面でしか経験できない、実技や質問時間を設けました。会場の閉館時間ギリギリまで残って実技練習や質問される受講者も多く、高校野球の大会サポート現場にも負けなくらい熱い熱い研修会となりました。

山田 和希(公立浜坂病院)



【参加者の感想】

研修会の冒頭では、投球障害の患者をみるにあたって野球経験は関係ないという話を聞き、正直半信半疑でしたが、講義を聞いていく中で、シンプルに考えイメージができればもっと簡単に考えられることも実感しました。投球動作時の肩のメカニズムやシングルプレーンをとれるようにするための最大外旋の重要性を再認識するとともに、そのための運動療法をご教授いただきました。投球障害でリハビリをさせてもらっている患者様の中でも受傷機転としてはケア不足も一因として考えられますが、ボールを投げる際に必要な肩・肘の動きや体幹の使い方を十分に理解していない選手も少なくないと感じています。知識・手技を臨床で活かし、痛み悩む選手やパフォーマンス向上に伸び悩む選手に対して、より質の高いリハビリを提供できるよう努めていきたいと思います。

橋本 創汰(安富診療所)

スポーツ活動支援部のサポートには日頃スポーツ選手に関わる事のない病院、介護施設勤務の理学療法士も多く参加していただいています。スポーツ活動を支援するサポートスタッフに興味のある方は、QRコードまたは兵庫県理学療法士会HPにアップされる「現場活動のお知らせ」、「勉強会のお知らせ」に是非お申込み下さい。皆さんとスポーツ活動のサポートができることを楽しみにしております。



【申し込み先】 スポーツ活動支援部 中西 拓也

The 37th Academic Meeting of the Hyogo Physical Therapy Association

第37回兵庫県理学療法学会大会

実装の追求

理学療法を駆動するもの・理学療法が駆動するもの

会 場

小野市うるおい交流館エクラ

〒675-1366 兵庫県小野市中島町72番地

会 期

2026年10月3日(土)

大会長

前重 伯壮

神戸大学大学院保健学研究科

準備委員長

奥野 史也

医療法人社団栄宏会 医療法人社団栄宏会
栄宏会小野病院 / 土井リハビリテーション病院

特別講演

野寫 一平

名古屋市立大学医学部保健学科教授



DX・実装 に関するコンテンツ多数!

参加登録期間は2026年10月1日(木)17:00まで
事前参加登録のみのため注意
オンデマンド配信は10月10日~10月31日を予定



アクセス



山陽自動車道「三木小野IC」より車で約10分
※駐車スペースには限りがございます。
可能な限りお乗り合わせの上ご来場ください。



「JR市場駅」よりバスで約14分
「電鉄小野駅」よりバスで約7分
※シャトルバス巡回予定

お問い合わせ

Be active株式会社 E-mail: 37hyogo@gmail.com / TEL: 080-3478-5390

INFORMATION



子育て中でも、
場所や時間を
選ばず学ぶことが
できる。

一部生涯学習制度
認定（ポイント認
定）対応した
動画あり。

質問も会員同士の
コミュニケーション
が可能。
学びを共有できる。

利用方法

- ① 右のQRコードを読み込む
- ② HPTAメールの案内のとおり
ユーザー名/パスワードを入力してログイン



HPTAインフォメーションサービスのご案内

研修情報やアーカイブサイト新着情報などを
配信しているメルマガの登録は右のQRコードから！



研修会案内はホームページやHPTAメールの内容をご確認ください。

今年度は登録理学療法士の更新年度となっておりますので、計画的な準備をよろしくお願いします。

アーカイブサイトにて生涯学習制度認定対応コンテンツも公開しております。

一般社団法人 兵庫県理学療法士会 Hyogo Physical Therapy Association 2026年度 上半期 研修会スケジュール

4月	8日 (水)	DUNLOP KOBE OPEN2026 車いすテニス大会におけるメディカルサポート活動 8:30～ 4/12(日) 17:00 (コード: 96) 講師: 三星 健吾 先生	現地
	19日 (日)	令和8年度新人・新入会者説明会・研修会 9:00～12:00 (コード: なし) 講師: なし	現地
5月	20日 (水)	循環器疾患に対するリスク管理～座位時間・身体活動も踏まえて～ 19:00～20:00 (コード: 35) 講師: 井澤 和夫 先生	web
	22日 (金)	医科学サポートの実践 ～フィジカルチェック、脱水検査などを通じたコンディショニングサポート～ 19:30～21:00 (コード: 177) 講師: 片山 訓博 先生	web
	23日 (土)	エコーを用いた評価から治療アプローチへの展開 18:00～20:00 (コード: 57) 講師: 沼澤 俊 先生	web
6月	13日 (土)	投球動作における運動療法の介入(仮) 15:00～16:30 (コード: 88) 講師: 三宅 崇史 先生	現地
	17日 (水)	理学療法の通説を再考する 19:00～20:30 (コード: 49) 講師: 市橋 則明 先生	web
	18日 (木)	予防に資するゼネラリスト育成研修: 社会資源・制度 19:00～20:30 (コード: 9) 講師: 未定	web
	19日 (金)	特別な環境がなくても臨床研究はできる 一回復期病院の理学療法士が経験した研究のはじめ方 19:00～20:30 (コード: 48) 講師: 丸 貴行 先生	現地
	27日 (土)	脳画像の診かたと臨床推論 9:00～12:00 (コード: 39) 講師: 吉尾 雅春 先生	web
		パラスリート理学療法士が語るパラスポーツ支援の実践ー当事者・専門職・メディカルの三つの視点からー 20:00～21:30 (コード: 99) 講師: 安田 孝志 先生	web
7月	7日 (火)	理学療法士法及び作業療法士法と関連法規についてわかりやすく学ぶ(仮) 19:00～20:30 (コード: 15) 講師: 石川 智昭 先生	web
	13日 (月)	研修をやったけど効果がないのはなぜだろうー生成AI時代に求められる教育設計という考え方ー 19:00～21:00 (コード: 159) 講師: 下井 俊典 先生	web
	15日 (水)	脳卒中で実施する一般的な・標準的な理学療法評価とその解釈 19:00～20:00 (コード: 38) 講師: 野添 匡文 先生	web
	18日 (土)	器具療法を選択と考える方へ実践～複数講師によるシンポジウム～ 18:00～20:00 (コード: 68) 講師: 福山 純史 先生、蓮井 成仁 先生、小田 弘毅 先生	現地

兵庫県理学療法士会員は基本的に受講費が無料となります。
研修会の日時やテーマ、講師、開催形式などが変更になる場合がございますので、必ず兵庫県理学療法士会ホームページやHPTAメールの内容をご確認ください。
HPTAメールでは研修会情報、社会活動などを配信します。



8月	5日 (水)	リハ室の「動ける」を地域の「暮らし」へー地域支援事業におけるPTの実践ステップー 19:00～20:30 (コード: 152) 講師: 永井 宏達 先生	web
	6日 (木)	循環器疾患に対するリスク管理 19:00～20:30 (コード: 105) 講師: 松尾 知洋 先生	web
	23日 (日)	マルチモビリティ時代の呼吸リハビリテーションー多疾患併存患者に対する評価と運動療法(仮)ー 9:00～12:00 (コード: 100) 講師: 堀江 淳 先生	web
	29日 (土)	情報共有・目標設定研修 10:00～14:00 (コード: 41) 講師: 未定	現地
9月	5日 (土)	パーキンソン病の評価・治療の流れ(仮) 9:00～12:00 (コード: 81) 講師: 岡田 洋平 先生	web
	27日 (日)	腰部・骨盤部・股関節の障害連動に対する徒手理学療法ー腰痛治療を筋・筋群連動の視点から再考するー 9:00～16:00 (コード: 58) 講師: 坂場 英行 先生	現地
10月	3日 (土)	第37回兵庫県理学療法学会「実践の道と一理学療法士を駆動するもの」ー理学療法士が駆動するものー 大会長: 前重 伯壮 先生 参加ポイント+α	現地・オンデマンド配信

カリキュラムコード一覧はこちら



研修会への参加により30分ごとに0.5ポイント/点が付与されます。
2026年度は登録理学療法士の更新年度となります。
更新期限は3月末までで、更新料は無料となりますので、計画的なご準備をお願い致します。
病気や出産、介護などやむを得ない事情がある場合は、更新期限延長を申請できる仕組みもあります。

10学部7研究科、総合大学で豊かな人間性を育む
総合リハビリテーション学部

理学療法学科
・理学療法士国家試験受験資格

作業療法学科
・作業療法士国家試験受験資格

総合リハビリテーション学研究科
大学院 修士課程・博士後期課程

神戸学院大学
KOBÉ GAKUIN UNIVERSITY

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518
有瀬キャンパス TEL (078) 974-1551 (代表)

救急救命からリハビリテーションまで
現場さながらの「チーム医療を学ぶ」

神戸医療福祉専門学校中央校
650-0015
神戸市中央区多聞通2丁目6番3号
介護福祉士科 鍼灸科
精神保健福祉士科 社会福祉士科

神戸医療福祉専門学校三田校
669-1313
三田市福島501-85
理学療法士科 作業療法士科 言語聴覚士科
救急救命士科 義肢装具士科4年制

姫路医療専門学校
670-0927
姫路市駅前町27番2
作業療法士科 言語聴覚士科
臨床工学技士科 救急救命士科

看護リハビリテーション学部
理学療法学科

女性だから、できるケアがある。
女子大学で、女性のための理学療法を学び、
リーダーシップがとれる理学療法士へ。

甲南女子大学
KONAN WOMEN'S UNIVERSITY

〒658-0001 神戸市東灘区森北町6-2-23

理学療法学科公式サイト
理学療法学科公式Instagram

創立53年の歴史を持つ医療の総合教育校

診療放射線科 臨床工学科
視能訓練士科 理学療法学科
作業療法学科 歯科衛生士科
臨床工学特科

Since 1973 医療法人社団 慈恵会
KCC 神戸総合医療専門学校

〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7丁目1番21
お問い合せはコチラ TEL 078-795-8000(代表) HP <https://www.kobecc.ac.jp>

神戸総合医療 検索 スマートフォンはコチラ

医療で社会をつなぐ「医療社会人」を目指す

宝塚医療大学
TUMH TAKARAZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL AND HEALTH CARE

保健医療学部
理学療法学科 柔道整復学科 鍼灸学科 口腔保健学科
和歌山保健医療学部
リハビリテーション学科 看護学科
観光学部
観光学科 2024年4月開設

0120-00-1239

解き放て、
矢の力

医学部、薬学部、看護学部、リハビリテーション学部

兵庫医科大学

～精鋭の教員陣による人間教育～
**リハビリテーション学部
理学療法学科**

神戸国際大学
STANCHIELSKU

リハビリテーション学部／経済学部
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中9丁目1番6
TEL: 078-845-3111(代表) FAX: 078-845-3200

リハビリ訪問看護ステーション部 アスリッドサポート部 ソーシャルメディア広報部

Steps
想いをカタチに

予防医療部 ウイメンズヘルス部 ICTサポート部

兵庫事務所 TEL 078-599-7990 FAX 078-330-3754
〒652-0033 神戸市兵庫区西上橋通 1-1-23 ヴィラ神戸Ⅱ 101

神戸西事務所
〒655-0013 神戸市垂水区福田 2-4-4 サン・リベラル 203

兵庫県で
活躍する
理学療法士
～数珠つなぎ～

西宮市社会福祉協議会
西宮市総合福祉センター
リハビリセンター事業課

岩松 瑞季 氏

略歴

2014年3月
甲南女子大学
看護リハビリテーション学部
理学療法学科 卒業
2014年4月～
医療法人協和会
協和マリナホスピタル 入職
2022年4月
西宮市総合福祉センター
リハビリセンター事業課 入職

趣味

寄せ植え、ソーイング、釣り

モットー

一期一会



私は学生時代に就労継続支援事業所と障害のあるお子様がいる家庭でのボランティアを経験し、現在西宮市で障害福祉の分野に従事しています。

西宮市総合福祉センターは、共生のまち作りを目指して活動し、昨年開館40周年を迎えました。その中にあるリハビリセンターは、身体障害者手帳をお持ちの脳血管障害、脳性麻痺、その他様々な疾患を有する10～80歳代の広い年齢層の方にリハビリを提供しています。基本的な理学療法業務に加え、身体機能に応じたクラスを編成しセルフトレーニングを指導しています。その他にも市内外への実用的な移動手段や余暇活動の獲得を目指す事業や、地域の方への運動指導なども行っています。また社会福祉協議会の各部署と連携し、就労支援やスポーツイベント、福祉用具・電動モビリティの体験会などの事業に参加しています。

様々な方に出会え、体の悩みに寄り添い、その方が思う大切なことを一緒に抱え伴走できることが理学療法士の魅力だと思います。ご紹介頂いた蓮井成仁先生は保育園の級友で、理学療法士になり再会できた友人です。お繋ぎさせて頂くのは、私自身リハビリが必要になった際にご担当頂いた兵庫医科大学病院 菅野 恭平先生です。

これからも出会いに感謝し、障害のある方が地域でいきいきとした生活を送れるよう尽力していきたいです。

表紙写真

各部の研修会や活動時の様子になります。

活動の様子や研修会報告、研修会案内等ホームページやSNSでも紹介してますので、併せてご確認ください。

県士会だより 第210号
発行

一般社団法人兵庫県理学療法士会

発行責任者／間 瀬 教 史
編集者／筒 井 章 悟

ホームページ
<http://hyogo-pt.or.jp/>



一般社団法人 兵庫県理学療法士会

兵庫県理学療法士会事務所 所在地

〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通5丁目5-22 4階

TEL 078-367-7311